

## 目標達成計画

作成日：平成28年 2月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画の実施状況をケース記録に残せていない。申し送りやケア会議で話し合った内容が、記録として残せていない。	介護計画やモニタリング実施状況、申し送り時に話し合った内容を直ぐにケース記録等に残せるように、職員の意識の徹底を図っていく。	介護計画の見直しはもとより、ケース記録の入力方法や定型文の見直し修正を行い、その場で記録できるようにして行く。特に申し送り時は日誌当番が話し合った内容を記録出来る様に声掛けして行く。	3ヶ月
2	43	個人の排泄パターンの把握はしていても、ケース記録には、定型文で落としてしまい、個人の内容が記入漏れしてしまう事がある。	誰が見てもこの時間に案内すれば排泄がうまくいく。など、個人にあわせた声掛けをして、排便の周期等もケース記録と一緒に残していけるようにして行く。	24時間の排泄パターンを記録し、個人の排便間隔や排尿のタイミング、水分摂取量などを個別の記録にチェックして、本人に不快な思いをさせないケアが出来る様にして行く	3ヶ月
3	35	実際に水害等での避難をして見て、施設職員の協力だけでは難しいと感じた。地域住民からの協力体制が得られるようにして行く必要がある。	地域住民への働きかけを少しずつして行き、グループホームの内容、現状を知ってもらい、いざという時の協力依頼をして行く。	地域住民の集まりなどへ参加して、顔合わせを行い、GHへの行事への参加や何時でも立ち寄って頂ける様な環境作りをして行くなどの働きかけを少しずつでも行って行く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。